

東京電機大学工学部第二部規則

平成 22 年 3 月 9 日

規 4 第 87 号

第 1 章 総 則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京電機大学学則（以下「大学則」という。）第 3 条第 3 項に基づき、工学部第二部（以下「本学部」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学期、教育課程及び単位、成績及び卒業その他大学則施行上必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第 2 条 本学部は、科学技術分野における「知」の継承と現代社会に必要とされる「技術」を展開することにより、現代社会が直面する問題を解決し、さらに進んで社会の発展に寄与することのできる確かな能力を培うこととしている。

すなわち、現代社会において必要とされる科学技術とその進展に貢献するための実践的技術者を養成する。

併せて、夜間学部として、社会人教育を推進する。

2 本学部の各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 電気電子工学科は、電気工学と電子工学及びその統合分野と関連分野に関する基礎から応用までの総合的な知識と技術を有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる電気電子工学技術とその進展に貢献することのできる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

(2) 機械工学科は、機械技術及び機械システムとその周辺分野に関する基礎から応用までの総合的な知識と技術を有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる機械技術とその進展に貢献できる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

(3) 情報通信工学科は、情報・コンピュータ技術と通信・ネットワーク技術の両分野に関する基礎から応用までの知識と技術を広く総合的に有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる情報通信技術とその進展に貢献できる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

3 大学則第 56 条第 2 項に定める社会人課程学生の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に定める。

第2章 学年及び学期

(学年・学期)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から9月4日まで

後学期 9月5日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程及び単位

(授業科目)

第4条 授業科目の区分は、共通教育科目、専門教育科目、実践知重点科目及び教職課程に関する科目とし、別表第1のとおり開講する。

(履修の要件)

第5条 本学部における履修の要件については、別表第2のとおりとする。

(履修単位の制限)

第6条 本学部では、各学期に履修できる単位数を24単位までとする。ただし、自由科目及び集中講義科目は、履修できる単位数の上限に含まない。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、前項に定める上限を超えて、科目を履修することができる。履修方法は別に定める。

(教員の免許状授与の所要の資格の取得)

第7条 本学部において取得できる免許状の種類は大学別表第2とし、教職課程に関する科目及び必要な授業科目は別表第3とする。

第4章 成績及び卒業

(成績評価・単位認定)

第8条 本学部は大学別表第27条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本学部における、成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイントは、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GPA ポイント
90~100	S	4
80~89	A	3
70~79	B	2
60~69	C	1
0~59	D	0
放棄	—	0

(卒業)

第9条 本学部は、4年以上在学し、第5条別表第2に規定する履修の要件に従い、合計124単位以上を修得した者を卒業と認定する。

2 本学部は、大学則第32条第2項に定める卒業の基準を別に定める。

(退学勧告等)

第10条 学科長等は、本学部教授会の議を経て定められたGPA基準等に該当する学業成績が不良な者に対し、口頭での教育的指導を行うとともに、退学予備勧告を行うことができる。

2 学部長は、退学予備勧告を受けた者のうち、本学部教授会の議を経て定められたGPA基準等に該当する学業成績が不良な者に対し、退学勧告を行うことができる。

第5章 改正

(改正)

第11条 この規則の改正は、本学部教授会の議を経なければならない。

附 則

1 (施行期日)

(1) この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(2) この規則は、平成23年3月8日に第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)、第6条別表第3(工学部第二部における教職課程の履修方法)を改正し、平成23年4月1日から施行する。

(3) この規則は、平成24年3月13日に第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)を改正し、平成24年4月1日から施行する。

(4) この規則は、平成25年3月12日に第6条を追加し、次条以下を繰り下げ、第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)を改正し、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前に入学した者については、第6条の定めにかかわらず、履修単位の制限は設けない。

(5) この規則は、平成26年3月11日に第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)を改正し、平成26年4月1日から施行する。

(6) この規則は、平成27年3月24日に第10条を追加し次条以下を繰り下げ、第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)を改正し、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成26年度以前に入学した者については、第10条の定めは適用しない。

(7) この規則は、平成27年3月24日に第8条、第9条を改正し、平成27年4月1日から施行する。

(8) この規則は、平成29年3月14日に第4条別表第1(工学部第二部の授業科目及び単位数)を改正し、平成29年4月1日から施行する。

- (9) この規則は、平成30年3月13日に第2条第3項を追加し、第4条別表第1（工学部第二部の授業科目及び単位数）、第5条別表第2（工学部第二部の履修要件）を改正し、平成30年4月1日から施行する。ただし、本改正にかかわらず、平成30年3月31日に社会人コースに在籍する者が、当該コースに在学しなくなるまでの間、当該コースは存続するものとする。
- (10) この規則は、平成31年2月26日に第3条（学年・学期）第2項、第4条別表第1（工学部第二部の授業科目及び単位数）及び第7条別表第3（工学部第二部における教職課程の履修方法）を改正、第6条第2項を追加し、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前に入学した者については、第6条（履修単位の制限）の定めにかかわらず、履修単位の制限は設けない。
- (11) この規則は、令和2年3月10日に第4条別表第1（工学部第二部の授業科目及び単位数）を改正し、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 工学部第二部の授業科目及び単位数

1. 共通教育科目

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[共通教育科目]			
[人間科学科目]			
哲学と倫理の基礎		2	
論理的思考法		2	
自己心理学セミナー		2	
認知心理学		2	
歴史理解の基礎		2	
実用法律入門		2	
日本国憲法		2	
日本経済入門		2	
企業と経営		2	
介護福祉論		2	
健康と体力		2	
体育基礎Ⅰ		1	
体育基礎Ⅱ		1	
アウトドアスポーツA		1	
アウトドアスポーツB		1	
アウトドアスポーツC		1	
技術者倫理		2	
失敗学		2	
情報倫理		2	
情報化社会と知的財産権		2	
情報とネットワークの経済社会		2	
科学技術と企業経営		2	
情報化社会とコミュニケーション		2	
情報と職業		2	
科学技術と現代社会		2	
科学と技術の社会史		2	
比較文化論		2	
ヨーロッパ理解		2	
中国語・中国文化		2	
ドイツ語・ドイツ文化		2	
異文化理解		2	
教職入門		2	
教育心理学		2	
教育学概論		2	
教育社会学		2	
教育課程論		2	
教育の方法と技術		2	

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[英語科目]			
英語Ⅰ		1	
英語Ⅱ		1	
英語Ⅲ		1	
英語Ⅳ		1	
オーラルコミュニケーションⅠ		1	
オーラルコミュニケーションⅡ		1	
メディア英語Ⅰ		1	
メディア英語Ⅱ		1	
検定英語Ⅰ		1	
検定英語Ⅱ		1	
英語表現Ⅰ		1	
英語表現Ⅱ		1	
英語演習Ⅰ		1	
英語演習Ⅱ		1	
英会話Ⅰ		1	
英会話Ⅱ		1	
海外英語短期研修		2	
入門ビジネス英語Ⅰ		1	
入門ビジネス英語Ⅱ		1	
国内英語短期研修Ⅰ		1	
国内英語短期研修Ⅱ		1	

2. 専門教育科目・実践知重点科目
電気電子工学科

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[専門教育科目]			
[専門基礎]			
東京電機大学で学ぶ		2	
物理学Ⅰ		2	
物理学Ⅱ		2	
物理学Ⅲ		2	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
[専門科目]			
電磁気学および演習Ⅰ	4		
電磁気学および演習Ⅱ		4	
回路理論および演習Ⅰ	2		
回路理論および演習Ⅱ	2		
回路理論および演習Ⅲ		2	
回路理論および演習Ⅳ		2	
過渡現象		2	
物性物理学		2	
電子デバイスⅠ		2	
電子デバイスⅡ		2	
電気電子材料		2	
センサ工学		2	
電気機器Ⅰ		2	
電気機器Ⅱ		2	
パワーエレクトロニクス		2	
電機設計および電気製図		2	
電気電子計測Ⅰ		2	
電気電子計測Ⅱ		2	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
ロボット工学		2	
電力系統工学Ⅰ		2	
電力系統工学Ⅱ		2	
発電工学		2	
高電圧工学		2	
電気法規		2	
電子回路Ⅰ		2	
電子回路Ⅱ		2	
コンピュータ基礎Ⅰ		2	
コンピュータ基礎Ⅱ		2	
デジタル回路Ⅰ		2	
デジタル回路Ⅱ		2	
システム工学		2	
プログラミングおよび演習		2	
信号処理		2	
電気電子工学演習	1		
電気電子工学基礎実験Ⅰ	2		
電気電子工学基礎実験Ⅱ	2		
電気電子工学実験Ⅰ	2		

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
電気電子工学実験Ⅱ	2		
卒業研究		3	
微分積分学および演習Ⅰ	4		
微分積分学および演習Ⅱ		4	
線形代数学Ⅰ		2	
線形代数学Ⅱ		2	
微分方程式Ⅰ		2	
微分方程式Ⅱ		2	
確率・統計		2	
複素解析学		2	
コンピュータ基礎および演習Ⅲ			2
情報システムの基礎および演習			2
情報通信ネットワークの基礎および演習			2
マルチメディア表現技術の基礎および演習			2
職業指導			2
工業技術概論			2

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[実践知重点科目]			
イノベーションヒストリー		2	
デザイン工学		2	
創造設計・開発学		2	
モデリング実践学		2	
シミュレーション実践学		2	
品質管理		2	
特許法		2	
材料の信頼性工学		2	
安全・安心のための要素技術		2	
安全社会基盤学		2	
情報の安全・安心工学		2	
生活支援工学		2	
応用失敗学		2	
技術者プレゼンテーション		2	
技術者のための英語		2	
技術者キャリア形成学		2	
実用情報処理		2	
技術者のための経営学		2	
エンジニアリングプレゼンテーション		1	

機械工学科

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[専門教育科目]			
[専門基礎]			
東京電機大学で学ぶ		2	
線形代数学Ⅰ	2		
線形代数学Ⅱ		2	
物理学Ⅰ		2	
物理学Ⅱ		2	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
[専門]			
微分積分学および演習Ⅰ	4		
機械設計製図Ⅰ	2		
機械設計製図Ⅱ	2		
機械工学実験Ⅰ	2		
機械工学実験Ⅱ	1		
機械工学実験Ⅲ	1		
機械工作実習	2		
材料力学Ⅰおよび演習	3		
材料力学Ⅱ		2	
機械加工学Ⅰおよび演習	3		
機械加工学Ⅱ		2	
材料工学		2	
材料強度学		2	
工業熱力学および演習	3		
伝熱工学		2	
流体の力学Ⅰおよび演習	3		
流体の力学Ⅱ		2	
エネルギー変換工学		2	
熱機関		2	
流体機械		2	
メカトロニクス概論		2	
機械要素設計および演習		3	
振動工学Ⅰおよび演習	3		
振動工学Ⅱ		2	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
計測工学		2	
応用システム工学		2	
ロボット工学		2	
計算機援用設計		2	
工業力学Ⅰおよび演習	3		
工業力学Ⅱおよび演習	3		
コンピュータ基礎および演習Ⅰ	2		
コンピュータ基礎および演習Ⅱ		2	
コンピュータプログラミングおよび演習		2	
電気工学		2	
電子工学		2	
微分積分学および演習Ⅱ		4	
微分方程式Ⅰ		2	
微分方程式Ⅱ		2	
確率・統計		2	
複素解析学		2	
システム工学		2	

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
卒業研究A		3	
卒業研究B		6	
コンピュータ基礎および演習Ⅲ			2
情報システムの基礎および演習			2
情報通信ネットワークの基礎および演習			2
マルチメディア表現技術の基礎および演習			2
職業指導			2
工業技術概論			2

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[実践知重点科目]			
イノベーションストーリー		2	
デザイン工学		2	
創造設計・開発学		2	
モデリング実践学		2	
シミュレーション実践学		2	
品質管理		2	
特許法		2	
材料の信頼性工学		2	
安全・安心のための要素技術		2	
安全社会基盤学		2	
情報の安全・安心工学		2	
生活支援工学		2	
応用失敗学		2	
技術者プレゼンテーション		2	
技術者のための英語		2	
技術者キャリア形成学		2	
実用情報処理		2	
技術者のための経営学		2	
エンジニアリングプレゼンテーション		1	

情報通信工学科

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[専門教育科目]			
[専門基礎]			
東京電機大学で学ぶ		2	
微分積分学および演習Ⅰ		4	
微分積分学および演習Ⅱ		4	
線形代数学Ⅰ		2	
線形代数学Ⅱ		2	
微分方程式Ⅰ		2	
物理学Ⅰ		2	
コンピュータリテラシー		2	
コンピュータプログラミングおよび演習Ⅰ	2		
[専門]			
情報通信基礎	2		
電磁気学の基礎および演習		3	
電気回路の基礎および演習	2		
エレクトロニクスの基礎		2	
コンピュータプログラミングおよび演習Ⅱ	2		
コンピュータ構成と機械語		2	
データ構造とアルゴリズム		2	
インターネットプログラミング		2	
基礎情報数学A (離散数学)		2	
基礎情報数学B (確率と情報)		2	
基礎情報数学C (代数と符号)		2	
卒業研究A		2	
卒業研究B		4	
情報通信基礎実験Ⅰ	2		
情報通信基礎実験Ⅱ	2		
情報通信工学実験Ⅰ	2		
情報通信工学実験Ⅱ	2		
情報通信プロジェクト	4		
回路網の基礎		2	
エレクトロニクスの応用		2	
信号システム解析		2	
デジタル信号処理		2	
応用物理学		2	
電磁気学の応用		2	
電波工学		2	
信号理論		2	
通信工学の基礎		2	
通信システム		2	
通信ネットワーク		2	
情報ネットワーク		2	
ワイヤレスシステム工学		2	
光ファイバ通信		2	
計測と制御		2	
画像処理工学		2	
データベース		2	
ヒューマンインタフェース		2	
論理回路および論理設計		2	
コンピュータアーキテクチャ		2	
マルチメディア通信工学		2	
ネットワークセキュリティ		2	

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
通信法規		2	
モバイルシステム技術Ⅰ		2	
モバイルシステム技術Ⅱ		2	
コンピュータ基礎および演習Ⅲ			2
情報システムの基礎および演習			2
情報通信ネットワークの基礎および演習			2
マルチメディア表現技術の基礎および演習			2
職業指導			2
工業技術概論			2

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
[実践知重点科目]			
イノベーションストーリー		2	
デザイン工学		2	
創造設計・開発学		2	
モデリング実践学		2	
シミュレーション実践学		2	
品質管理		2	
特許法		2	
材料の信頼性工学		2	
安全・安心のための要素技術		2	
安全社会基盤学		2	
情報の安全・安心工学		2	
生活支援工学		2	
応用失敗学		2	
技術者プレゼンテーション		2	
技術者のための英語		2	
技術者キャリア形成学		2	
実用情報処理		2	
技術者のための経営学		2	
エンジニアリングプレゼンテーション		1	

3. 教職課程に関する科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
工業科教育法			4
情報科教育法			4

② 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
教育学概論		2	
教職入門		2	
教育社会学		2	
教育心理学		2	
特別支援教育			1
教育課程論		2	
総合的な学習の時間の指導法			1
特別活動論			1
教育の方法と技術		2	
生徒・進路指導論			2
教育相談			2
教育実習セミナー			2
教育実習Ⅰ			2
教職実践演習（高）			2

③ 大学が独自に設定する科目

授業科目の名称	単位数		
	必修	選択	自由
道徳理論と指導法			2

別表第2 工学部第二部の履修要件

工学部第二部においては、次により124単位以上を履修し、修得しなければならない。

(社会人課程(実践知重点課程)でない)一般の学生の課程

区 分		単 位 数
		電気電子工学科 機械工学科 情報通信工学科
共通教育科目	人間科学科目	8 単位
	英語科目	6 単位
専門教育科目	専門基礎科目 専門科目	8 6 単位
任意に選択し、修得した科目		2 4 単位
合 計		1 2 4 単位

社会人課程(実践知重点課程)

区 分		単 位 数
		電気電子工学科 機械工学科 情報通信工学科
共通教育科目	人間科学科目	8 単位
	英語科目	6 単位
専門教育科目	専門基礎科目 専門科目	6 2 単位
実践知重点科目		2 4 単位
任意に選択し、修得した科目		2 4 単位
合 計		1 2 4 単位

備考 1 専門教育科目については、各学科において定めている必修科目の単位の全部を履修し、修得しなければならない。

2 (社会人課程(実践知重点課程)でない)一般の学生の課程は「一般学生課程」と呼称することができる。

別表第3 工学部第二部における教職課程の履修方法

① 教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	科目名	履修方法
高等学校教諭 一種免許状	工業	教科に関する専門的事項	工業の関係科目 職業指導	教科に関する専門的事項に関する科目の単位は、それぞれの科目について1単位以上計20単位以上修得すること。 各教科の指導法に関する科目の単位は、4単位以上修得すること。
		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	工業科教育法	
	情報	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理 コンピュータ・情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。） 情報と職業	
		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	情報科教育法	

② 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目名	単位数	履修方法
教育学概論	2	いずれも必ず修得すること。
教職入門	2	
教育社会学	2	
教育心理学	2	
特別支援教育	1	
教育課程論	2	
総合的な学習の時間の指導法	1	
特別活動論	1	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談	2	
教育実習セミナー	2	
教育実習Ⅰ	2	
教職実践演習（高）	2	

③ 大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分	履修方法
大学が独自に設定する科目	最低修得単位24単位を超えて履修した「①教科及び教科の指導法に関する科目」、最低修得単位23単位を超えて履修した「②教育の基礎的理解に関する科目等」及び「③大学が独自に設定する科目」の指定科目の中から、併せて12単位以上修得すること。

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目	履修方法
日本国憲法	} それぞれ2単位以上を修得すること。
体育	
外国語コミュニケーション	
情報機器の操作	